

あとがき

夏も終わり、いつしか暦の上では秋となりました。秋は勉学のシーズン、学会シーズンでもあります。特筆すべきことに『臨床眼科』では今月から新しい連載がスタートします。柿崎裕彦先生の編集による「目指せ！眼の形成外科エキスパート」です。しかも嬉しいことに、この連載は今月から2年半という長期にわたり掲載されます。これまで眼球付属器の疾患にはあまりなじみのなかった方や、ちょうど眼形成外科に興味を持ち始めた若い眼科医の皆さん、そしてもちろんベテランの先生にも時宜を捉えた格好の読み物となるでしょう。昨年には日本眼形成再建外科学会も発足しましたし、これからは日本の眼科のなかでもひとつの重要なサブスペシャル領域として眼形成外科が発展するためのお役にも立つことでしょう。

「今月の話題」は竹内大先生による「感染性ぶどう膜炎の診断：分子生物学の進歩」です。本邦におけるぶどう膜炎の原因疾患で長年続いた不動のビッグ3、サルコイドーシス、原田病、Behçet病の順位が崩れ、2009年の集計ではサルコイドーシス、原田病に続いて急性前部ぶどう膜炎が第3位となったことは記憶に新しいところですが、これまで原因不明とされてきたぶどう膜炎のなかに眼圧上昇を伴う病型にはサイトメガロウイルス感染症がかなりの数でみられることが述べられています。しかも最近のmultiplex PCRを用いた新しい眼内液の診断法により、診断率が飛躍的に上がるという知見です。原因が明らかになれば治療法の幅が広がるのは医学の定石ですので、これも大いに役立つ情報です。

いつもの連載では「何が見える？ 何がわかる？ OCT」で宇田川さち子先生と大久保真司先生による「OCTでpreperimetric glaucomaを診断する」があります。緑内障も糖尿病同様、予後を考えると早期発見、早期治療が望まれる病気です。これまで初期と思われてきた視野の変化が出現する前に緑内障と確実に診断できる日が来ることもそう遠くはないような気がします。

(中澤 満)

編集顧問	清水弘一	塚原 勇	馬嶋昭生	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅養三
	西田輝夫	水流忠彦	根木 昭				
編集委員	寺崎浩子	中澤 満	坂本泰二	鈴木康之	下村嘉一	稲谷 大	

臨床眼科 (第68巻 第9号)

2014年9月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価：本体 2,800 円＋税

(2014 年年間購読料(増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料弊社負担)
冊子版 43,280 円
冊子＋電子版/個人 48,280 円 冊子＋電子版/共有 54,800 円
電子版/個人 43,280 円 電子版/共有 49,800 円)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2014, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** <(株)出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 松井・山本・安部